

プログラム

1日目 2015年6月13日(土)

8:00～	受付開始	1F エントランス
10:00～12:00	シンポジウム 1	第1会場 (1F フィルハーモニアホール)
	乳幼児学校保健委員会主催 座長：増田 英子（増田医院 副院長） 伊藤 晴通（生和堂医院 院長） 「命の大切さと性に関する教育 ～産婦人科医・学校・地域との協働を目指して～」 1. 「小学4年生への「命の大切さ」を伝える性教育 ～学校・PTA との協働～」 川村 和久（かわむらこどもクリニック 院長） 2. 「若年の性の現状、性教育の必要性 ～学校・家庭・地域への繋がりを求めて～」 貞永 明美（貞永産婦人科医院 院長・大分県産婦人科医会常任理事） 3. 「学校において実践する命の学習 ～性教育とリーダーシップ～」 宮本香代子（岡山大学大学院教育学研究科 教授） 4. 「学校と行政が協働した性教育の実践例」 岩田 祥吾（南寿堂医院 院長）	
10:00～12:20	社員総会	第2会場 (2F レセプションホール)
10:30～12:00	ポスターセッション	ポスター会場 (B1F・コンベンションホール)
12:30～13:30	ランチョンセミナー 1 テキスト	第2会場 (2F レセプションホール)
	共催：ヤンセンファーマ株式会社 座長：井上 登生（井上小児科医院 院長・福岡大学臨床教授） 「ADHD の理解と治療 プライマリケアの立場から」 榊原 洋一（お茶の水女子大学 理事・副学長）	
12:30～13:30	ランチョンセミナー 2	第3会場 (3F 国際会議室)
	共催：ジャパンワクチン株式会社・第一三共株式会社 座長：太原 博史（鹿児島県小児科医会 会長） 「乳幼児ワクチンで変わる小児感染症診療 － Hib・肺炎球菌・ロタウイルス－」 西 順一郎（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 微生物学分野 教授）	

12:30～13:30	ランチョンセミナー3	第4会場 （1F 中会議室）
	共催：田辺三菱製薬株式会社 座長：三宅 和昭（宮崎県小児科医会 会長） 「予防接種、発達障害児支援、アレルギー対策が、 元気な子どもを育む地域を構築する」 是松 聖悟（大分大学医学部地域医療・小児科分野担当 教授）	
12:30～13:30	ランチョンセミナー4	第5会場 （3F 小会議室 31）
	共催：第一三共株式会社 座長：進藤 静生（しんどう小児科医院 院長） 「インフルエンザ診療の動向 –小児と成人の違いを含めて–」 池松 秀之（久留米臨床薬理クリニック 顧問 日本臨床内科医会インフルエンザ研究班リサーチディレクター）	
12:30～13:30	ランチョンセミナー5	第6会場 （B1F リハーサル室）
	共催：武田薬品工業株式会社 座長：杉野 茂人（熊本県小児科医会 会長） 「蚊が媒介するウイルス感染症について –グローバル化がもたらしたものの、知っておかなければいけないこと–」 西園 晃（大分大学医学部微生物学講座 教授）	
13:30～13:40	開会式	第1会場 （1F フィルハーモニアホール）
13:40～14:40	特別講演1	第1会場 （1F フィルハーモニアホール）
	座長：東保裕の介（大分県小児科医会 元会長・とうほ小児科医院 院長） 「アフガンに命の水を」 中村 哲（PMS（ピースジャパン・メディカル・サービス）総院長）	
14:40～15:20	特別講演2	第1会場 （1F フィルハーモニアホール）
	座長：河野 幸治（第26回総会フォーラム 会頭・河野小児科医院 院長） 「小児科医としての45年を振り返る」 松平 隆光（日本小児科医会 会長・松平小児科医院 院長）	

プログラム

1日目 2015年6月13日(土)

15:20～16:00	特別講演3	第1会場 （1F フィルハーモニアホール）
	座長：松岡幸一郎（大分県産婦人科医会 会長・松岡産婦人科医院 院長） 「妊産婦メンタルヘルスから始まる乳幼児虐待予防」 木下 勝之（日本産婦人科医会 会長）	
16:10～16:50	特別講演4	第1会場 （1F フィルハーモニアホール）
	座長：石和 俊（大分県小児科医会 会長・石和こどもクリニック 院長） 「小児科外来診療で出会う外科疾患」 田口 智章（九州大学大学院医学研究院小児外科学分野 教授）	
16:50～18:50	シンポジウム2	第1会場 （1F フィルハーモニアホール）
	座長：東保裕の介（大分県小児科医会 元会長・とうぼ小児科医院 院長） 藤本 保（大分県医師会常任理事・大分こども病院 院長） 「地域で支える子どもの育ちと子育て －産婦人科医、行政との連携と協働－」 1. 「ペリネイタルビジット産婦人科」 岩永 成晃（大分県ペリネイタルビジット事業推進委員会委員 ・大分県産婦人科医会常任理事・岩永レディースクリニック 院長） 2. 「ペリネイタルビジット小児科」 石和 俊（大分県小児科医会 会長・石和こどもクリニック 院長） 3. 「ペリネイタルビジット精神科」 青木 裕子（医療法人哲世会 鶴見台病院） 4. 「ヘルシースタートおおいた ～子育ての喜びを実感できる地域社会をめざして～」 藤内 修二（大分県中部保健所 所長） 5. 「母乳とくすりハンドブック」 多田 貴彦（大分県薬剤師会・永富調剤薬局）	
19:00～21:00	懇親会	第2会場 （2F レセプションホール）

2日目 2015年6月14日(日)

7:30～	受付開始	1F エントランス
8:00～9:00	モーニングセミナー 1	第3会場 (3F 国際会議室)
	共催：MSD 株式会社 座長：岩田 敏（慶應義塾大学医学部感染症学教室 教授） 「HPV ワクチンの安全性と有効性 ～疑問にお答えします～」 今野 良（自治医科大学附属さいたま医療センター産科婦人科 教授）	
8:00～9:00	モーニングセミナー 2	第4会場 (1F 中会議室)
	共催：アルフレッサ株式会社 座長：小野 靖彦（長崎県小児科医会 会長・おの小児科 院長） 「次世代医療 ICT の観点からの『ワクチンと副作用情報』」 矢作 尚久（国立成育医療研究センター 臨床研究開発センター データ科学室室長代理）	
9:00～9:40	教育講演 1	第1会場 (1F フィルハーモニアホール)
	座長：馬場 常嘉（佐賀県小児科医会 会長・ばばこどもクリニック 院長） 「小児の低血糖症：診断と治療の基礎知識」 井原 健二（大分大学医学部小児科学講座 教授）	
9:40～10:10	教育講演 2	第1会場 (1F フィルハーモニアホール)
	座長：田原 卓浩（山口県小児科医会 会長・たはらクリニック 院長） 「小児科専門医制度の現状と今後」 井田 博幸（東京慈恵会医科大学小児科 教授）	
10:10～10:40	教育講演 3	第1会場 (1F フィルハーモニアホール)
	地域総合小児医療検討委員会主催 座長：柳 忠道（日本小児科医会 副会長・やなぎクリニック 院長） 「地域総合小児医療認定医制度について」 神川 晃（日本小児科医会 地域総合小児医療検討委員会担当副会長）	

10:50～12:30

シンポジウム3

第1会場 (1F フィルハーモニアホール)

座長：奥山真紀子（国立成育医療研究センター 副院長・こころの診療部長）

井上 登生（井上小児科医院 院長・福岡大学臨床教授）

「子ども虐待予防と小児科医の役割」

1. 「母子保健から見た子ども虐待防止と小児科医の役割」

佐藤 拓代（大阪府立母子保健総合医療センター 母子保健情報センター長）

2. 「要保護児童対策地域協議会の現状と課題：連携のあり方と小児科医に望むこと」

安部 計彦（西南学院大学人間科学部社会福祉学科 教授）

3. 「日本子ども虐待医学会監修の医療機関向け虐待対応プログラム

BEAMS の紹介；子どもに関係する医療機関に望むこと」

山田不二子（日本子ども虐待医学会理事 兼 事務局長）

4. 「子ども虐待防止に向けた大分県での取り組みと課題」

井上 登生（井上小児科医院 院長・福岡大学臨床教授）

9:00～11:20

シンポジウム4

第2会場 (2F レセプションホール)

公衆衛生委員会・予防接種リスクマネジメント委員会主催

座長：及川 馨（日本小児科医会理事・及川医院 院長）

中山 義雄（小児科・アレルギー科 中山クリニック 院長）

「子ども達の予防接種は、我々小児科医が責任を持って担います！」

第1パート「予防接種の適切な施行」

「接種までの管理と注意点」

和田 紀之（和田小児科医院 院長）

「適切な接種手技」

片岡 正（かたおか小児科クリニック 院長）

第2パート「予防接種の過誤」

「発生事例の報告」

辻 祐一郎（日本小児科医会理事・JCHO 東京高輪病院 小児科部長）

「過誤を防ぐには」

峯 真人（日本小児科医会理事・医療法人自然堂峯小児科 理事長）

第3パート「予防接種関連裁判例から」

桑原 博道（仁邦法律事務所 所長）

第4パート「これからの予防接種を考える」

「国内の現状から」

藤岡 雅司（ふじおか小児科 院長）

「欧米的ロジックですすめる予防接種」

近 利雄（THE KING CLINIC 院長）

11:20～12:20	教育講演4 小児救急委員会主催 座長：山中 樹（日本小児科医会理事・山中たつる小児科 院長） 「子ども達のために、家庭トリアージによる家庭看護力アップを！」 市川光太郎（北九州市立八幡病院 小児救急センター 院長）	第2会場（2F レセプションホール）
12:30～13:30	ランチョンセミナー6 共催：一般財団法人 化学及血清療法研究所・アステラス製薬株式会社 座長：呉屋 良信（沖縄県小児科医会 会長） 「なぜ今、すべての子どもにB型肝炎ワクチンが必要なのか？」 ～定期接種化を見据えて～ 乾 あやの（済生会横浜市東部病院 小児肝臓消化器科 部長）	第2会場（2F レセプションホール）
12:30～13:30	ランチョンセミナー7 共催：サノフィ株式会社 座長：和田 紀之（和田小児科医院 院長） 「思春期における予防接種 ～その意義と現場対応～」 藤岡 雅司（ふじおか小児科 院長）	第3会場（3F 国際会議室）
12:30～13:30	ランチョンセミナー8 共催：MSD 株式会社 座長：川村 和久（かわむらこどもクリニック 院長） 「大切な子どもを守るために」 1. 「誤接種防止対策とロタウイルスワクチンの重要性」 津村 直幹（久留米大学医学部小児科学講座 講師） 2. 「なぜ小児期のHBワクチンが必要なのか」 ～定期接種化の背景と今後の課題～ 四柳 宏（東京大学医学部感染症内科 准教授）	第4会場（1F 中会議室）
12:30～13:30	ランチョンセミナー9 共催：サノフィ株式会社・第一三共株式会社 座長：中山 義雄（小児科アレルギー科 中山クリニック 院長） 「細菌性髄膜炎を取巻く最新の報告 ～厚生労働省研究班2014年度調査結果から～ 1. 「日本における小児侵襲性細菌感染症の現状」 ～ワクチン導入によるインパクト～ 菅 秀（独立行政法人国立病院機構 三重病院 副院長） 2. 「累積接種率から見たヒブワクチンの課題」 崎山 弘（崎山小児科）	第5会場（3F 小会議室31）

2日目 2015年6月14日(日)

12:30～13:30	ランチョンセミナー 10 共催：ファイザー株式会社 座長：蘭部 友良（育良クリニック 小児科顧問） 「ワクチン普及戦略 – 接種完遂率のさらなる向上をめざして –」 田原 卓浩（たはらクリニック 院長）	第6会場（B1F リハーサル室）
13:40～15:40	市民公開講座 子どもとメディア委員会主催 座長：清川 輝基（NPO 法人子どもとメディア 代表理事） 川上 一恵（かずえキッズクリニック 院長） 「スマホ社会の落とし穴～子どもの脳とからだにこんな異変が！～」 1. 「インターネット依存治療の最前線から」 樋口 進（独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター 院長） 2. 「スマホ社会と子どもの運動器障害」 帖佐 悦男（宮崎大学医学部整形外科 教授） 3. 「児童精神科医の外来でみえてくるもの」 氏家 武（北海道こども心療内科氏家医院 院長） 4. 「小児科医療の現場から ～日本小児科医会の取り組みも含めて～」 内海 裕美（日本小児科医会理事・吉村小児科 院長）	第1会場（1F フィルハーモニアホール）
13:40～15:40	地域総合小児医療認定医制度を語る集い 地域総合小児医療検討委員会主催 司会：佐藤 好範（日本小児科医会理事・さとう小児科医院 院長） 熊谷 直樹（日本小児科医会理事・くまがいこどもクリニック 院長） 「～将来の地域小児医療とその担い手～」 1. 「成育基本法における小児科医の役割」 松平 隆光（日本小児科医会 会長・松平小児科医院 院長） 2. 「地域包括ケアについて」 神川 晃（日本小児科医会 副会長・神川小児科クリニック 院長） 3. 「BRIGHT FUTURES」 田原 卓浩（たはらクリニック 院長） 4. 「過疎地域の小児医療の将来」 高山 修二（たかやま小児科 院長） 5. 「地域小児医療における総合診療専門医の役割」 森田 潤（こどもクリニックもりた 院長）	第3会場（3F 国際会議室）
15:40～15:50	閉会式	第3会場（3F 国際会議室）

6月13日(土) 10:30~12:00 ポスター会場 (B1F・コンベンションホール)

10:30~11:10

A1~A5

座長：松本 重孝（松本小児科医院 院長）

- A1 「タバコ煙は PM2.5 ～自家用車における曝露濃度～（第二報）」
ティンクルなごや 中川 常郎
- A2 「小児科での喫煙に関する問診状況調査」
十文字学園女子大学 齋藤 麗子
- A3 「胎児期からの受動喫煙と血管リスク」
秋田県小児科医会 原田 健二
- A4 「呼気 NO 測定で気管支喘息の診療はどう変わるのか？」
岡空小児科医院 岡空 輝夫
- A5 「ICS と吸入 β_2 刺激薬を併用した間欠投与療法による喘息治療の簡素化と短期化の試み」
ふかざわ小児科 深澤 満

11:10~11:50

A6~A10

座長：清水 隆史（しみず小児科 院長）

- A6 「定期接種化による当科の最近 10 年間の肺炎球菌およびインフルエンザ菌感染症の推移の検討」
PL 病院 小児科 西村 章
- A7 「2014 年に入園した保育園児における肺炎球菌、インフルエンザ菌の分離状況」
和田小児科医院 和田 紀之
- A8 「肺炎球菌結合型ワクチンの導入 3 年経過後からの肺炎球菌菌血症例の再増」
ふかざわ小児科 深澤 満
- A9 「ポリオ根絶プログラムの現況」
日本小児科医会国際委員会 関場 慶博
- A10 「平成 26 年度全国広域化予防接種実施の進捗状況とその問題点」
日本小児科医会公衆衛生部・予防接種委員会 森 美喜夫

10:30~11:10

B1~B5

座長：澤口 博人（大在こどもクリニック 院長）

- B1 「『京都市学校検尿マニュアル』による検尿結果 10 年のまとめ」
京都小児科医会 川勝 秀一
- B2 「小児生活習慣病検診における心血管危険因子値と本人・保護者の生活習慣との関係および DUALSCAN における内臓脂肪・皮下脂肪面積の年齢による検討」
青木内科循環器科小児科クリニック 青木真智子
- B3 「1 歳児を対象にした食物アレルギーと除去食の実態調査」
大阪小児科医会学術部会 西村 龍夫
- B4 「5 歳児健診に関するアンケート調査」
日本小児科医会乳幼児学校保健委員会 河村 一郎
- B5 「言葉の遅れ - 発達障害早期スクリーニング(M-CHAT 問診票)は間違っています -」
kids21 子育て研究所（川崎医科大学名誉教授） 片岡 直樹

11:10～11:50

B6～B10

座長：玉井 友治（たまい小児科 院長）

B6 「日本で子どもを育てる外国人の保健医療情報入手に関する検討」

あいち小児保健医療総合センター 山崎 嘉久

B7 「富山市医師会・富山県小児科医会における小児在宅医療情報ネットワークの進捗状況について」

富山県小児科医会 八木 信一

B8 「小児医療費助成に関する東京小児科医会会員の意識調査」

東京小児科医会調査委員会 津田 隆

B9 「小中学校、幼稚園、保育所職員の麻疹風疹対策に対するアンケート調査」

兵庫県小児科医会 感染症対策委員会 中西 恭一

B10 「病児保育施設向けインシデント管理システム（mims）の有用性と課題」

全国病児保育協議会調査研究・インシデント管理委員会 向田 隆通

10:30～11:10

C1～C6

座長：和田 雅臣（わだこどもクリニック 院長）

C1 「2014 年夏季におけるパレコウイルス流行の経験」

大阪小児科医会 川崎 康寛

C2 「肛周溶連菌性皮膚炎(Perianal Streptococcal Dermatitis:PSD)の6例 ～分離菌のT血清型の検討～」

(医) 大庭小児科医院 大庭 利道

C3 「Abusive head trauma (AHT) 患児の臨床背景、リスク要因と予後の検討」

大分大学医学部 小児科 平野 直樹

C4 「ワクチンデビューを利用した子育て困難への早期介入の試み」

信越病院小児科 長谷川京子

C5 「熱性けいれんの発生頻度の検討。～新潟市急患センター受診記録の病名から～」

(医) さとう小児科医院 佐藤 雅久

11:10～11:50

C6～C10

座長：下飛田 毅（下飛田小児科 院長）

C6 「大阪府小児救急電話相談（＃8000）の現状と今後の展開について」

大阪小児科医会 福井 聖子

C7 「日本小児科医会会員による家庭看護力の醸成」

日本小児科医会小児救急医療委員会 南雲 淳

C8 「京都 CDR スタディー」

京都小児科医会、京都第一赤十字病院小児科 木崎 善郎

C9 「8.20 災害：多職種協同による災害発生初期救急診療」

(医) 唐淵会・桑原医院 桑原 正彦

C10 「北海道の小児救急医療地域研修事業の10年間のまとめ」

北海道小児科医会 山中 樹